筑波學生新聞

# 基礎工・エシス，改組へ

## 「マクロとミクロの融合」構想倒れに
### ――受験生への影響大きい

**筑波大学は第三学群基礎工学類と工学システム学類の改組を計画した。しかし、この時期の改組は受験生に混乱を生じ、受験生への対応が心配される。また、在学生への影響はあるのか。そして何より、なぜ改組が必要なのか。第三学群内の学問的領域の整理統合で、学類の再編に至った例として、この二つの学類に迫った。（取材班）**

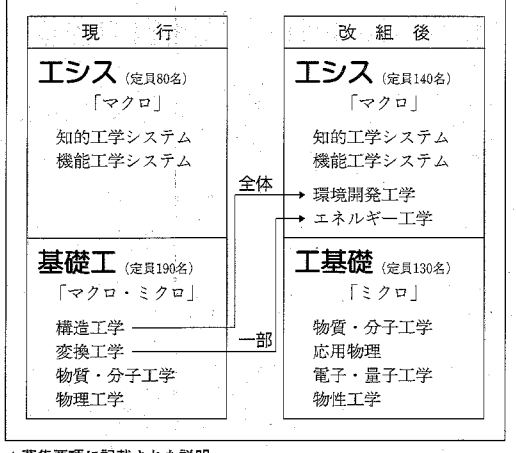
＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

筑波大学第三学群基礎工学類（以下、基礎工）・工学システム学類（以下、エシス）では、平成一〇年度において改組のための予算要求を行っている。この要求が通れば、現在の基礎工の構造工学主専攻全体と、変換工学主専攻の一部がエシスに移り、基礎工は工学基礎学類（以下、工基礎）に名称を変更する。構造工学は基礎工の中で一番人気で、工基礎では六〇人の減員が予定され、その分エシスが増員される。よって、一〇〇人以上差があった入学定員も、改組後は、ほぼ同じ定員となる。

改組後のエシスでは、新しくエネルギー工学・環境開発工学が追加される。工基礎では、主に原子・分子レベルのミクロの世界の教育が行われる。

この改組は、現在在学している学生には適用しない。もし留年などをしてしまった場合も、対応する科目を開設するなどといった対策が考えられている。そのため、在学生には大学側からの正式発表はない。

しかし、予算要求が通るかどうかは来年四月までは



▲募集要項に記載された説明

っきりしない。そのため大学は、募集要項に未確定であることを記載し、来年一月末に政府原案が決定した後、希望者に追加の募集要項で公表するという対応をとった。推薦入試合格者の扱いは議論中であるが、個々に特別扱いされる。前期試験の科目は、工シスと工基礎（現基礎工）では理科の科目数と英語のヒアリングの有無が違うため、一部の受験生にはかなり不利になるだろうと予想される。大学側も転学類には普段より柔軟に対応するなど、受験生が不利益を被らないよう配慮するとしている。

## 解説

基礎工における変換工学主専攻・工シスにおける集積システム分野の教育は、従来の工学部教育ではなしえなかった学際教育の一例であった。

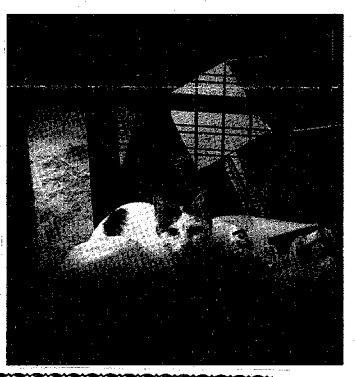
永井啓之宍工シス学類長は「今まで基礎工には、建築物・橋梁・船舶といったマクロの世界と、電子・原子といったミクロの世界という両極端なものが混在していた。それは新しい分野へのチャレンジであったと思う。しかし、今日、これらは分けられるべきだという意見である。新しい道への模索の段階として、基礎工のマクロの部分である構造工学を、マクロの世界を学んでいる工シスに移すという改組にいたった」と説明した。

また、名取宪第三学群長は「たった四年間の学類生の段階で、あまりにも広い分野を学ぶことは難しい。実際、広く・浅くにしか学べない学生が多い。学際研究とは、深く学んだ異なる分野の研究者が集まるということで、意味をはき違えている学生が多いのではないか」とコメントした。

「学際的」を特色としている筑波大学だが、全く異なる分野の基礎を四年間で学ぶのには限界がある。ある程度の基礎を学んでから違う分野を学ばなければ、どっちつかずになるのは明らかである。このたびの改組は、「学際的」に反して専門分化という結果になるわけだが、新設科目が増え、一定分野内で様々なことが学べるようになる。

しかしこれは、学類内での専門度が強まるということで、同時に、入学後に専攻を決定していたのが、入学前に希望専攻を決定しなければならなくなったということである。そこで、入学前の受験生へのPRが極めて重要になる。来年度のみでなく、それ以降も、受験生に対する詳しい情報の提供といった、大学側の柔軟な対応が期待される。

## Photo Report
### 宿舎ゴミ集積所に
## 「ネコレンジャー」出現!?



我が塁は猫である。名前はまだ無い。

どこで生まれたかとんと見当がつかぬ。ただ、平砂学生宿舎内フロアでにゃあにゃあと泣いていたことだけは記憶している。

我々は地球のゴミを無くすべく活動しているのだが、人間族というものはとかく我々をやっかい払いしたがるものらしい。このたび、我々の活動に業を煮やしてか、鉄柵つきの集積場ができた。網まで張る程の用意周到ぶり。ところが、まるで「くぐるべし」とばかりに隙間だらけときた。まったくもって人間族のすることは理解できない。

一晩の夕食を拝借した次第。今夜はコンビニ弁当の食べ残し。おお、あちらには口が開いたゴミ袋、と御馳走だらけ。ああそうだ、追越に越してきたムクドリのみどりさんにもお裾分けをしなきゃ。

あぁ、極楽、極楽……。

## 宿舎での盗難 激増
### 被害届例年の5倍に

今年の宿舎盗難の届け出数が九月末現在までに三十件を突破した。例年は年間五～七件しか出なかったのが、昨年は二十一件、今年は既に五倍を越えている。宿舎における盗難は増加の一途をたどっている。

主な被害として屋外では自転車、バイク、靴などの盗難、最近では駐車場に停めてある車を持って行かれる被害もあったという。また、居室内では鍵の閉め忘れによる現金盗難。一階では窓ガラスを壊して侵入してくる場合もあるそうだ。

これに対し、管理側でも宿舎内放送による呼びかけ、住民への注意プリントの配布・掲示、警備巡回の強化などを行っている。しかし、犯人は場所や建物を熟知しているのか効果は無く、被害は後を絶たない。今後の対策として、一階の窓ガラスを割られるのを防ぐため、管理事務所では一階の窓に鉄格子の設置を検討している。（三上）

## 宿舎抽選
### 一年生以上も参加可能に

毎年十～十一月に行われる来年の宿舎居住の抽選は昨年まで原則として一年生しか受けられなかったが、今年から二年生以上も参加出来るようになった。

この改正の理由について、厚生課宿舎担当の吾妻さんは「上級生に優先順位を付けないようにした。新入生はみんなに個室を与えるようにして、後は上級生で平等に分けるようにした」と説明した。

この制度によって、抽選に通りさえすれば学生は何年でも宿舎に住むことが出来るようになった。もちろん大学院生も対象となっている。また、アパートなど一旦外に出て、翌年宿舎に戻ってくることも可能である。二人部屋にも適用される。

実際、現在宿舎に住んでいる二年生三十一人に電話によるアンケートを実施したところ、約半数の学生が、抽選を受けると回答した。風呂の時間に制限がある、夏暑く冬寒い、洗濯機が壊れている、生活環境の便が悪い、という切実な声が聞かれた一方、意外に多くの学生が二年目も宿舎の生活を望んでいた。今回の措置は学生側の希望を管理側が上手く汲んだよい例となるであろう。（三上）

## 残留希望者 意外に多し

第三五回厚生会理事会が九月二〇日に開かれた。そこで、大学会館下の日用品店を経営している株式会社ボンベルタ伊勢甚（以下、伊勢甚）が、業務委託契約の解除を申請し、承認された。

伊勢甚は、平成六年度までは黒字経営であったが、利用者の激減から平成七・八年度と赤字に落ち込み、累積赤字は五〇〇万円以上にものぼった。

伊勢甚の撤退は三月三十一日付であり、後続の業者の選定が緊急に必要となる。

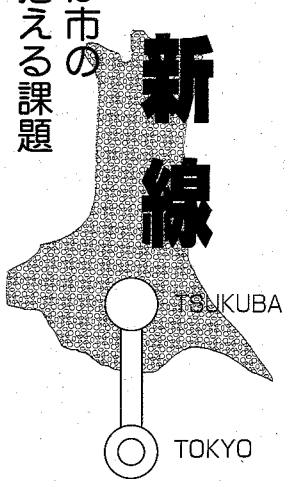
その事前調査として、厚生会によって、今後導入して欲しい品目、どんな店を入れて欲しいかといったアンケートが行われる。その結果を基に、学生・教職員・業者の代表が集まる厚生会理事会で、後続の業者が決定される。

しかし、次の厚生会理事会が開かれるのは早くても一二月以降である。それから業者への委託、開店準備という過程を経て、四月開店に間に合うのかどうか、懸念される。（取材班）

## 大学会館下
# 伊勢甚撤退へ
### ――累積赤字が原因

## 〈検証〉常磐新線
### 第1回 つくば市の抱える課題

**東京都心と筑波研究学園都市を結ぶ鉄道、常磐新線。秋葉原～つくば間が四五分と、新線の沿線開発地区には約一〇〇万人の人口増加が見込まれ、沿線地域では経済効果で大きな期待が寄せられている。だが現在計画は遅々として進まず、昨年一二月、開業予定が平成一七年に延期された。本紙では常磐新線の抱える課題を数回に渡って検証する。今回はつくば市の常磐新線開発の現状をリポートする。（小幡）**




常磐新線は東京都、埼玉県、千葉県、茨城県にまたがり、秋葉原から終点つくば駅（つくばセンター付近に建設予定）までの五八・三㎞に鉄道を通そうという計画。昭和五三年に構想が発表され、昭和六〇年には運輸大臣の答申によって正式に認可された。常磐線より時間が短縮できる上に、高速バスとは比較にならない輸送能力を持っている。

常磐新線の開通はそのままつくばの首都圏化とベッドタウン化を意味し、経済効果の点でも活躍が見込まれている。

茨城県の開発地区はつくば地区、伊奈・谷和原丘陵部地区、守谷地区の3つに分かれている。つくば市を除く二地区は既に橋の基礎工事や土地の整理業が始まっている。だがつくば市は常磐新線・沿線開発地域の中で最も遅れている地区の一つとなっている。

つくば市の沿線開発地区は谷城地区、島名地区などの六地区。だが工事を進めている地区はまだ一つもない。建設をめぐって地域住民の反対などの課題が残されており、未だに着工の見通しが立たない。

沿線開発には実際の開発計画（土地の区画整理事業、道路工事など）を決める「都市計画決定」がされなければならない。「都市計画決定」は、その地域住民の合意が必要だ。だが現在、葛城地区蓮沼川周辺のトンネル工事で住民と市の間に意見の食い違いが見られる。

終点つくば駅と隣の葛城駅の間は最初の計画では葛城駅を出た後地下に潜り、そのまま地下に建設予定のつくば駅に到着する計画であった。平成六年、地権者はこの計画に賛同して土地の売却に合意した。

ところが、バブル崩壊の余波で建設費の削減を目的として、トンネルの距離（一・五㎞）を半分の七五〇mに縮小する計画が浮上してきた。

## 行政と住民の対立
## 未だ工事着工せず

地上に高架を建設するのと地下に鉄道の通るトンネルを建設するのでは、前者の方が約三六億円コストが安い。

一都三県の第三セクター、首都圏新都市鉄道株式会社が昨年一二月の鉄道整備計画見直しの公表と共に、突然トンネルの距離の変更を住民に通達した。

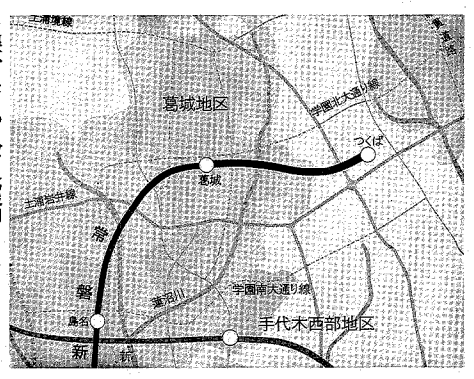
葛城地区の町作り協議会は土地の売却時と内容が違うため、契約違反として反対運動を展開し、トンネルの距離を元通りにする事を要求している。他五地区も葛城地区に同調し、都市計画決定を認めない方針だ。

市では来年三月には都市計画決定を行い、出来るだけ早く事業計画の認可を得たいのだが、鍵を握る住民の反応は厳しい。葛城地区の町作り協議会会長の飯島昇さんは「我々も早く都市計画決定を行い、工事を始めて欲しい。だが、一方的に決められた契約違反の都市計画を認めるわけにはいかない」と語る。

トンネル問題は建設費削減を目的としたものだが、実は一年間計画が停滞することに三六億円以上の出資をしてしまう。飯島さんは「素直に昔の計画にすれば、費用がかからないのに…」と不満をこぼす。

首都圏新都市鉄道株式会社は一二月に整備計画の見直しで、全体的に建設のグレードを下げた。その計画の中に葛城地区のトンネル縮小が組み込まれている。したがって全地区でこの様な事態が生じている。仮に三六億円を県が出資したらすぐにも問題は解決するが、他県との統一がとれなくなってしまう。葛城地区だけ特別視することは出来ないのだ。

だが、町作り協議会は市の提案する構想案を検討せず、企画される説明会に参加もしていない。経費削減の苦肉の策に住民の歩み寄りが見られない状況だ。市と住民が合意する道のりはまだ遠そうである。



▶焦点となるつくば・葛城間

筑波學生新聞

日本名門酒会員
モンドセレクション
国際品評会金賞
娘
ヒトリムスメ
（株）山中酒造店
代表取締役 山中直次郎
結城郡石下町新石下187
TEL0297-42-2004㈹
FAX0297-42-6977

編集・発行
筑波大学学生新聞会
代表 池亀 光洋
〒305 茨城県筑波学園郵便局私書箱29号
TEL 0298-52-4460
URL:www.first.tsukuba.ac.jp/~s950325
振替 00360-9-31450
1部100円

11月号
November

筑波学生新聞電子版
http//www.first.tsukuba.ac.jp/~s950325

今月の主な記事

二面…つくば市民会議
三面…総力取材・鳥
四面…変わりゆく応援団

## 自主休講

昔から多くの観光客が訪れる草津は古い町並の景観がいかにも落ち着いていて、伝統的な温泉所を守ってきた、という感じを受ける。しかし、先日訪れたおりに町役場の方に聞いた、温泉街の経営にまつわる話はとてもショッキングで興味深いものであった▼旅館、土産物店、飲食店などが並ぶ温泉街の「サバイバルゲーム」は相当激しいらしい。ここ十年で大きい店で五軒、小さい店ではさらに多くが潰れた。各店は生き残りのため、必死だ。例えばある土産物店は、魅力あるオリジナル商品の開発に努めている。また月毎の客の傾向や「今は年寄りが若々しい色を、若者が渋めの物を好む」というトレンドも掴んでいる。更に「長野自動車道と上信道が貫通して、関西系の客が増えたので趣味の商品も新たに開発した」と余念が無い。危ないのは歴史ある旅館。代々引き継いで来た所はなおのこと努力が意慢になり易い▼土産物店の代表格、温泉饅頭屋といえば、いかにも江戸時代から開いていそうだが、その歴史は驚くほど浅く昭和三十年頃から。しかもそのルーツは、競争に負けた土産物店の成れの果てなのだそうだ。一昔ながら「という温泉饅頭のイメージを武器として、見事再生した▼秒単位で移り行く現代では新しさに、より価値が置かれる。しかし、草津という場所においては「先端」は雰囲気に合わずに浮いてしまう。逆に草津の伝統によって、「古臭さ」は「趣」に変わる▼物が状況によって価値が変わってしまうように、人間も状況によって求めるものが変わってしまう。また、物が必ずしも古くなくてもいい。結局、求められる物は、状況という雰囲気の投影に過ぎない。その状況を的確に判断して有効に立ち回ることが求められる能力である。ただ開いているように見えた土産店も、戦略をもって臨んでいたのだ。

ご意見・情報は
0298-52-4460
まで

筑波学園文庫
古書買入
学術書・専門書
筑波大教科書・参考書
SUKIYA・デニーズ・珍来
東大通り
学園平塚線
筑波学園文庫
至大学会館
つくば市天久保3―21―3
TEL/FAX(0298)56-0322

車検整備・鈑金塗装
おまかせコース＝Aコース
格安コース＝Bコース
※車検基本料 15,000円
激安中古車あります
電話して下さい
有限会社 山一オート
つくば市大字要245
TEL 0298-64-1311
FAX 0298-64-7797
看板あり

住所変更を――される方へ
定期購読をしている方で，アパートなどに引越しされる場合は，こちらに御連絡下さい。新しい住所でお届けいたします。
筑波学生新聞
TEL and FAX 52-4460

一般・小児・矯正
医療法人
恵歯会
桜ケ丘歯科
診療時間（9:00～18:00）
日，月，祭日，休診
吾妻3―17―6
東大通りぞい
TEL 0298-52-1518

ボシュウ
・新聞ヲ読ム人
・記事ヲ書ク人
・金ノ計算ヲスル人
・広告ヲトル人
・デザインヲ考エル人
ツクバガクセイシンブンカイ
デンワ 52-4460

運転免許
★低料金
★早い卒業
★安心
歓迎 筑波大生
公認 明野自動車学校
0296(52)2811
筑波大学生申込所
筑波学生教職員生協
0298(55)9331

# 住民と行政 対話の場――

# つくば市民会議 開かれる

**つくば青年会議所主催の「第一〇回つくば市民会議」が九月二三日に行われた。行政と市民団体、市民が一緒に市政について考えるために始まったイベントも今回で一〇回目を迎える。市民会議のはたす役割は何だろうか。（小幡）**

▲会議には藤沢市長も参加

つくば市民会議は「市民と行政が一つのテーブルで自分たちの住む街の話し合いを」という趣旨から始まったものである。つくば青年会議所が市民、行政どちらにも肩入れせず、中立の立場でセッティングしている。

今回の議題はA、田園市街地構想は実現できるか？B、九十九年国際会議場完成に向けて C、みんなの手で手塚ワールドを茨城の地に D、これでいいのかリサイクル？の四つ。

過去八回はノバホールで講演会の形式を採っていたが、パネリストの対話は聞くことが出来ても一般市民の意見をくみ上げることは難しかった。そこで、昨年からカスミつくばセンターに会場を移し、ワークショップ形式（小グループに分かれて議論する）を採用し、討議した。

参加は青年会議所の関係者らしき人が大半を占めた。テーマの提示の後、各議題に別れてワークショップに入った。積極的発言が期待されたが専門家の解説が長かった事に加えて、意見を出すべき一般参加者がほとんどいないことで議論は空回り。

議論する時間は二―三時間程度で、担当の専門家との一問一答になった、その議題に詳しい人の独壇場になった、関係者の利害に終始した、などというケースが多く見られた。その結果、それぞれが意見を言い話が膨らんだだけであった。

## 一般参加者集まらず 成果に疑問

市民会議は各議題で出された内容を最後に発表し、一〇回目にして初めて参加した藤沢市長が「必ず、提言されたことを積極的に行うと断言する」と発言し、幕を閉じた。

つくば青年会議所の宮本泉さんは「市民会議はいわば打ち上げ花火。どーんと打ち上げて（盛り上げて）今後の活動のきっかけ作りになることを目指している」と語る。市民会議での提言までは期待していないという。

実際、高齢者福祉問題や、都市交通ではこの会議を発端に市民団体と市が一丸となって既に一〇〇回近く会議を繰り返しているという。また、ゴミ問題では市民会議をきっかけとなって市政に反映された例もある。だが、きっかけ作りをする為の、市民会議自体の求心力がまだ不足しているようだ。

つくば青年会議所は新聞を中心にかなりの宣伝費用でアピールに力を入れている。しかし、参加者は毎年さほど大差なく、宮本さんは「参加者はこれが限界」という。又、かつては有名人の講演会を盛んに行ったが、肝心の会議の方には人が集まらなかった。

更に、一般参加者用に配る記念時計や記念シールは大量に余り、会場には関係者が目立つ。青年会議所のミーティングかと間違える程だ。自己満足的なニュアンスも拭いきれない。

現状とその認知度、内容から打ち上げ花火にしては少々小玉で、ともすれば「市民の意見をくみ上げる」という名目だけの文字通りパフォーマンス、ぱっと光ってすぐに消えてしまうことになりかねない。

市民への積極的な参加を呼びかけると共に、青年会議所が外向きになっていくことがつくば市民会議の存在価値を上げていく方法なのではないだろうか。

**つくば市では十一月一日からゴミの分別・収集方法を変更する。批判の大きかった従来の「カレンダー方式」から曜日別収集へと変わった。背景には市民と行政のねばり強い交渉があった。（増田）**

× × × ×

つくば市内では昨年十一月から「カレンダー方式」と呼ばれる収集方法をとっていた。

「カレンダー方式」とは曜日別収集でなく、市が配布する「家庭ゴミ収集カレンダー」によって出せるゴミを指定する収集方式で、市民は頻繁に「ごみカレンダー」を確認しなければいけなかった。また「ごみカレンダー」自体が非常に分かりにくいため苦情・批判が続出。具体的には、①リサイクルせずにほとんど燃やしているのにも関わらずプラスチックを他のごみと区別して収集している。②燃やせるごみと燃やせないごみに分別している粗大ごみは分別が難しく混乱を招いている。③燃やせるゴミの収集が週二回しかない、などの問題点があった。

新しい「ごみカレンダー」は祝日も収集する曜日別収集方式となり、以下の点が改善された。①プラスチックごみは現状にあわせて燃やせるごみと燃やせないごみに分けて収集する。（プラスチックだけなら燃やせるごみで、プラスチックと金属の複合物なら燃やせないごみとなる）②粗大ごみは一括して収集する。

可燃ごみの収集回数は変更されなかったが、「カレンダー方式」よりはかなりすっきりした収集方式に変更された。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

昨年「カレンダー方式」が開始された直後に市民グループ「住みよい筑波の会」は「従来どおりに曜日別収集で可燃ごみを週三回収集して欲しい」など七項目の要望を提出し、「ごみカレンダー」について市民と行政が話し合う機会を持つことを要請した。

これを受けて市側もごみカレンダーについて今年四月・五月に二回ずつ懇談会を開くことを決定し、市民の意見を知ろうとした。つくば市ごみ対策課の職員は「確かに（カレンダー方式についての）批判の声が多く、（住みよい筑波の会）要請も懇談会を開く」因となった」と語る。

## ゴミ分別 収集方法

## カレンダー方式 便利な曜日別収集に

▲ゴミ分別はしやすくなるか

しかし、「ごみの分別収集計画について語る会（仮称）参加者募集」と曖昧な表現でごみ対策課が参加を呼びかけたため、「ごみカレンダー」について話し合うと知らずに参加した市民が存在し、何を議題とするか共通の意識を形成するのに時間がかかった。参加した市民の間でもごみに対する意見に食い違いがあった。

このため「ごみカレンダー」の内容を具体的に議論することが出来ず、中途半端な状態で懇談会は終了。

懇談会の最終回にそれまでの議論をふまえて市側が一応の改善案を提示した。内容は「ごみカレンダーを見やすくする」などにふれただけで、望まれた根本的な改善は何ら無かった。

失望と共に終了した懇談会だったが、参加者の一部は改善のためにねばり強く交渉を続けた。

### 分別・収集方法の変更点

| カレンダー方式 | 新方式 |
|---|---|
| ◎収集方法 | |
| 「ゴミカレンダー」によって収集日を指定 | 曜日別収集 |
| ◎分別 | |
| 燃やせるゴミ | 燃やせるゴミ |
| 燃やせないゴミ | 燃やせないゴミ |
| プラスチックゴミ | 燃やせないゴミ |
| かん・びん | かん |
| | びん |
| ペットボトル・古紙・古布 | ペットボトル |
| | 古紙・古布 |
| 不燃粗大ゴミ | 粗大ゴミ |
| 可燃粗大ゴミ | 粗大ゴミ |

## 市民団体 粘り強い交渉のたまもの

「ごみカレンダー」改善を促進する議決を請願する団体もあり、一週三回燃やせるごみを収集する」ことが市議会で議決された。週三回収集する事は実現されなかったが、市の歩みよりを促す一因となった。また、ごみ対策課に抗議文を送った団体もある。

「住みよい筑波の会」では独自で再度改善案を提出し、何回かごみ対策課と話し合いを行った。アンケートをとり、市民が曜日別収集や土・日・祝日も回収を望んでいることを伝えた。

これらのたくさんの人々の努力が腰の重い行政を動かし、曜日別収集を決定させた。「批判の刃を突き付けるだけではダメ。現状はこうだからこう変えていこうと建設的に話し合わなければいけない」と「住みよい筑波の会」の吉田さんは語る。

ごみ対策課の職員も「市民の影響が大きかった。前のカレンダーの批判、懇談会での話し合いが無ければあの様（曜日別収集）にはならなかっただろう」と語っている。

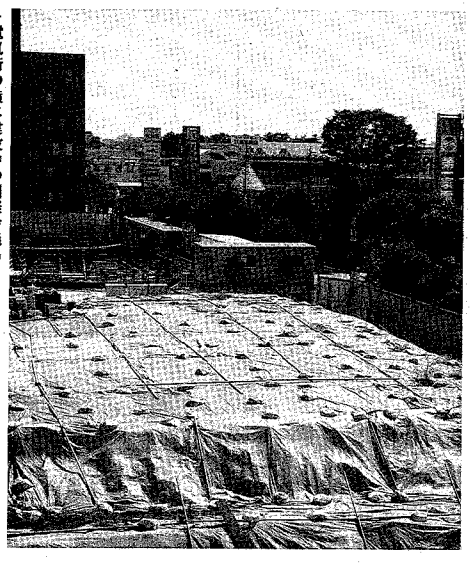
つくば市ではごみ問題の他にも、導入が予定されている情報公開条例やオンブズマン制度に参画を求める市民グループがある。それらがよりよい制度になるには、行政と市民が互いの意見を構築出来るかにかかっている。

---

# つくば国際会議場 建設始まる

## 官 研究所の情報発信基地に

## 民 経済効果が第一


▶電気街の横に建設中の国際会議場

**また新たなる施設が、つくばに増えそうだ。「つくば国際会議場（仮）」平成十一年三月の完成を目指し、会議場の建設は既に動き出しているが、どうやら民と官の間には多少の壁が残っているようだ。（波辺）**

× × × ×

電気街の正面、といえばわかりやすいだろうか。あの敷地に、今、日本でも有数の会議場が建設されている。工事主体は茨城県と、科学技術庁の外郭団体である科学技術振興事業団（以下、科技振興団）。会議場建設の理由を県の推進局に問い合わせたところ、「サイエンスシティーに加え、コンベンションシティーとしての機能を」という答えが返ってきた。

これは、つくばに多く存在する研究所の情報を、国際的に発信する基地にしようという考え。残念ながら現在、つくばには大規模な会議施設は存在しない。県民ホールなどの会議室を借りるという形で、小規模な会議しか行えず、ワークショップ（小規模な討論会）やポスターセッション（ポスターなどの展示を使っての会議）などが行えないなどの問題があり、地元の研究機関から不満の声が挙がっていた。

そのような声を受けて、つくば市に大規模な会議場の建設が動き出した。建設が予定されている国際会議場は、千二百五十席の大ホールを始め、多目的ホールや屋上庭園、そして十五の中小会議室などが備わっている。その設備も、大ホールには六カ国語同時翻訳や四百インチのハイビジョンなどが予定されており、映像機器の使用により、大会議室など他の会場と結び、二千五百人規模のイベントも可能だという。

また、成田からのアクセスによる影響も考慮してある。現在、外国からの研究者が東京で会議を行うときには、成田から車で一時間会議終了後ホテルまで三十分というのが普通になっている。それに対し、現在施工中の「首都圏中央連絡自動車道」が開通されると、成田からつくばまで四十分で到着できる。

これに対し民の側は、この会議場による経済効果を第一に考えているようだ。九月二十三日のつくば市民会議でも、「つくば国際会議場」という議題にも関わらず、副題の「国際会議場による経済効果とつくばの観光」ばかりが議論された。その内容も「筑波山のホテルに泊まらせ、筑波山めぐりをさせよう」、「目の前の電気街をめぐる、筑波電気街買い物ツアーを」などといった話が飛び出すなど、多少疑問の残る内容であった。

官が会議場に期待するのは「コンベンショナルシティー」。そして民が期待するものは「経済効果」。両立も可能ではあると思うが、両方の意識には、まだ多少のずれが残っているように思える。国際会議場ができたとき、つくばはどんな変化を迎えるだろうか。

---

# 香港の街角から

## 『人民解放軍の基地公開』

野田健次

HONG KONG 16.OCT.97 Vol.4

### 美男を集めて構成

### 本土での悪評を絶つ デモンストレーション

香港人にとって中国人民解放軍とは、八九年天安門事件で無抵抗の市民と学生に発砲した血塗られたイメージが強い。しかも隣接する広東省で見聞きする解放軍といえば、公安（警察）とともに改革開放政策で腐敗し、ヤミ商売はするは、袖の下は要求するはでさんざんだ。解放軍の香港駐屯は、治安の悪化や汚職の増加を誘引するとして、返還後の大きなリスクの一つに数えられていた。

中国としてはぜひとも汚名をすすぎ、香港人の支持を集めたいところ。そこで駐港部隊六千人の編成に中国は相当な気を使って、中国全土から選りすぐりを集めた。身体壮健、頭脳明晰はもちろんのこと、香港人に受けがいいよう「容姿端麗」、かつ資本主義社会の害毒に染まらぬよう「思想堅固」と、かなりのハードルだったという。

同日公開が行われたのは、香港島のスタンレー基地と九龍半島に近いストーンカッターズ基地の二カ所だ。それぞれ兵舎やミサイル巡洋艦など装備の一部を参観させたほか、スタンレー基地では群楽隊の演奏や筋骨隆々の兵士による勇壮な伝統舞踊の群舞が、ストーンカッターズ基地ではミニスカートの軍服を着た美人女性兵士による歌謡ショーが披露された。市民は喜びつつも「そこまでするか」とあまりの熱演ぶりに少しあんぐり。

精鋭を集めたというだけあって、兵士たちはそろって長身で容姿端麗。中国国内で見かけるダボダボの制服ではなく、駐港部隊用にあつらえた新デザインの軍服が、鍛えられた身体によく似合っている。案内に立つ兵士たちは常に微笑みを浮かべて実に懇切丁寧。敷地内は整然としており、この日のために周到に準備を重ねてきたのがよくわかる。そのせいか兵士たちはかなり緊張している様子で、ギャルたちは黄色い声を上げてコチコチの若い兵士達をからかっていた。雑談に応じてくれた若い兵士は吉林省出身だという。「香港は暑いでしょう」と問うと「いえ、暑くないであります」ときっぱり。少しは茶目っ気があったほうが香港では好かれるのだが……。

### 誠心誠意の大サービス

とはいえ、努力の甲斐あって同日の基地公開は大成功。マスコミの論調も好意的だった。いつまでも蜜月が続いて欲しいものだ。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

**のだ・けんじ**　香港ポスト紙記者。一九八七年芸術専門学群卒。本紙OB。

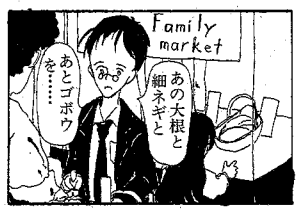
「意外と礼儀正しくて親切そう。だけどちょっと堅物って感じね。きりりとした男前の中国人民解放軍の兵士を取り囲んで記念写真を撮っていた香港人ギャルたちは、はしゃぎながらこう話した。―返還後、初の国慶節（建国記念日）を迎えた十月一日、香港に駐屯する人民解放軍は、初めて市民に基地を公開した。

▲返還レセプションにて解放軍首脳の挨拶

学んだ。認められた。役だった。
文部省認定 漢検
文部省の技能審査認定制度による日本漢字能力検定
「漢検」は文部省認定の能力試験。その評価は社会的な評価です。就職や進学にも有利で、企業や教育の現場で注目を集めています。入学試験で優遇措置を採る大学・短大が現在336校。単位として認定する大学・高校も増加。
▶合格を約束する協会発行の漢検参考書発売中◀
漢検ホームページ・アドレス　http://www.kanken.or.jp
次回の検定日は 平成10年1月25日(日)です。
11月1日より受付　締切は平成9年12月25日(木)協会必着 書店受付締切は12月21日(日)です。
財団法人 日本漢字能力検定協会
（本部）〒615 京都市西京区川島有栖川町51番地
（京都事務局）〒600 京都市下京区烏丸通松原下ル五条烏丸町198
TEL.075-352-8300
（東京事務局）〒103 東京都中央区日本橋兜町15番12号
TEL.03-3667-2181

## ひとのめ32 ～妹～

http://www.bres.tsukuba.ac.jp/~hitonome/



# つくば トリストーリー

## ～真夏の夜の黒い大群～

夕方、ギャーギャー激しく鳴きながらムクドリが飛び立つ様は空にモヤがかかったようだ。フンによる被害もひどく、大量のフンがこびりついた追越共用棟前は悪臭を放つ。

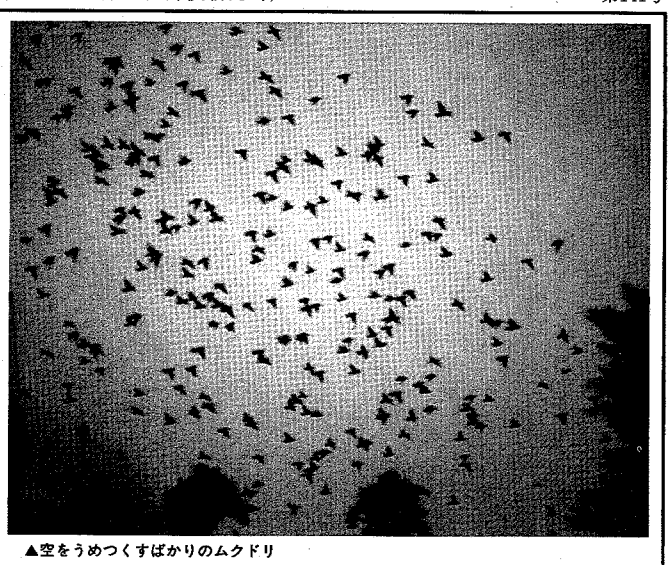
追越共用棟付近に今年六月から九月末頃にかけてムクドリの大群が飛来し、共用棟前の竹やぶなどにねぐらを作った。

ムクドリが群れをなしてやってきたのは昨年からである。なぜ追越宿舎地区にやってきたのか、その理由を追ってみた。（増田）

＊＊＊＊＊

話は科学万博が開かれた一九八五年頃にさかのぼる。この頃からつくば市の洞峰公園にムクドリが集まり始めた。ムクドリは繁殖期の夏から秋にかけて一カ所に集まってねぐらを作る習性があり「夏ねぐら」と呼ばれている。当時、洞峰公園内の「夏ねぐら」には二～三万羽ものムクドリが集まった。当然、鳥害もすさまじく、当時の新聞は「フンとけたたましい鳴き声に、散歩やテニスに訪れた人達が悲鳴を上げている」（九一年六月二五日、毎日）と記している。

来園者や付近の住民から苦情が続出したため、公園を管理する筑波新都市開発は一九九三年九月にムクドリの集まるケヤキの枝先を


▲空をうめつくすばかりのムクドリ

## 夏ねぐらを求めて
# 追越宿舎へ飛来

せん定し、ムクドリが戻ってこないように試みた。しかし、効果はなく何事も無かったようにムクドリは翌年公園に舞い戻った。

そこで、筑波新都市開発は農業研究センター鳥害研究所に相談。公園北側の人気の多い駐車場付近にあるケヤキがムクドリのねぐらになっていたため、人があまり来ない公園奥にねぐらを移す作戦が考え出された。具体的には天敵に捕まった時にあげる悲鳴を流してムクドリを追い立て、ムクドリの好むねぐらの中で鳴いているような鳴き声を流して公園奥に群れを誘導しようとした。音で鳥を追い払うことはアメリカなどでよく試みられているが、鳥の行動をコントロールしようとするのは初の試みだった。

だが、この作戦も失敗。「一晩は誘導した場所にいたが、次の日には他の場所にいってしまった」と鳥害研究所の中村和雄さんは語る。ムクドリを公園内の駐車場付近から追い出すことは出来たが、誘導には失敗し、群れは公園外に新しいねぐらを移した。

誘導に失敗したのは一九九四年で、一九九五年からはつくば市二ノ宮の学園西大通りの街路樹がムクドリに占拠された。ムクドリは明かりを好む習性を持ち、西大通り沿いの店の照明に誘われたようだ。街路樹のムクドリを公園内に呼び込もうとしたがまたも誘導は失敗した。

昨年からは、ムクドリはつくばセンタービル付近や松見公園などにも分散して夏ねぐらを作るようになった。追越宿舎に現れはじめたのもこの年からだ。前出の中村さんは「ここ二・三年を見た限り、群れの数が増えて（一つの群れの個体数が減ったので）害は減っているだろう」と語る。

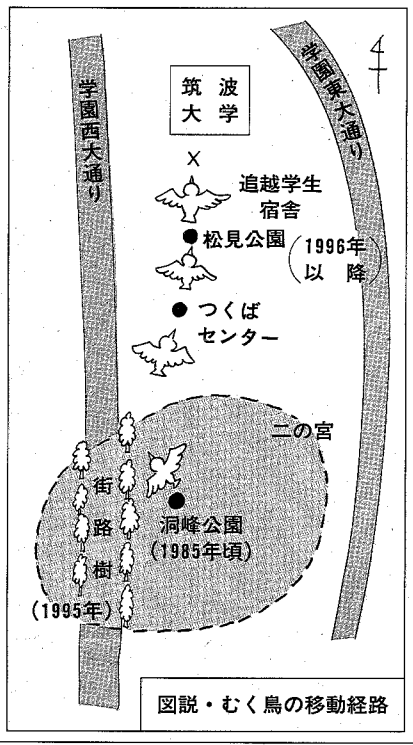
このように、追越宿舎のムクドリは、洞峰公園から巡り巡ってやってきた。うるさい鳴き声や悪臭は我々にとって快いものではないが、ムクドリにすれば「人間に追い立てられてここまでやって来たのに自分勝手な」と文句の一つも言いたくなるだろう。

万博開催と同時期にムクドリが洞峰公園に集まり始めたことから、万博を契機として周辺の開発が進みねぐらが奪われたことは容易に想像できる。ムクドリにしてみれば棲処を無くして仕方なしに洞峰公園に移ったのだ。

追越宿舎に住む筑波大生に鳥害の直接責任はない。しかし我々の見ているものは人間の開発による自然破壊の結果である。

＊＊＊＊＊

**ムクドリ……**北海道から九州までに繁殖。平地や盆地の人里付近に生息。橙色の嘴と白い頭が目立つ。繁殖期後群れで生活し、大群となり竹林などに眠る。



図説・むく鳥の移動経路

## 音による誘導 失敗に終わる

# エコレンジャー

## 地球を救え！

「エコロジー」という言葉が使われ始めてから、随分と経った。様々な環境問題が取り上げられているが、最近、二酸化炭素による「温室効果」の問題をよく耳にする。そんな中、筑波大学に環境系サークル「エコレンジャー」が誕生した。「身近なところから環境問題を考える」というエコレンジャー。今、彼らはどんな活動をしているのだろうか。（渡辺）

エコレンジャーが発足したのは今年の五月。生物資源二年の岩佐謙一さんが、三月にフィリピンやマレーシアに訪れたのがきっかけ。岩佐さんは日本と関係の深い環境問題を考えるというツアーに参加し、現地の状況を見た他、原住民や向こうの政府の声などを聞き、現地の状況にショックを受けたという。日本に帰国後、岩佐さんが環境問題に興味を持つ友人などに呼びかけたところ、二十人弱が集まった。

現在メンバーには生物資源学類の他、生物学類や国際総合学類など、様々な学類の人が参加しており、多くの学生が環境問題に興味を持っていることを窺わせる。

「環境問題」というと、堅苦しいイメージが伴うものだが、「気軽に身近なところから、環境問題を考えていこう」がエコレンジャーの発想。

＊＊＊＊＊

先日の雙峰祭でも、エコレンジャーは講義や展示を行うのではなく、模擬店で使われるトレーを通し、環境問題に取り組んでいた。

今年から、雙峰祭ではエコレンジャーの提案により、「再生プレート」なるものが使用され始めた。事の始まりは、六月に学祭の実委を通して行われた「模擬店におけるエコプレートの使用」についてのアンケート。

## 雙峰祭から資源を救え！

「エコプレート」とは現在もっとも環境に優しい使い捨て皿である。ジャガイモなどのでんぷんより作られるため、そのまま捨てても土に還るし、食べることもできる優れもの。

やはり学祭などで消費されるトレーの量は多く、しかもその大半がゴミとなってしまう。資源の浪費を抑えようとするエコプレート使用を提案したエコレンジャーだったが、結果的には値段が高い事、そしてまだ開発途中なものであるため、形状が限定されてしまうということから、採用には至らなかった。それならという事で、普通の物と値段も形状もそれほど差がない「再生プレート」が使われることになった。

しかし、この「再生プレート」というのは「エコプレート」と違い、そのままでは土に還る事も食べられるという事もない。この再生プレートを回収、洗い流してから工場まで持っていくことで初めて、再利用されるというものだ。模擬店終了後、エコレンジャーは現在人間学類では、心理学専攻に人気の集中してきた人間学類。心理学専攻では、学生の数に対して教員の絶対数が不足している。その対応として、心理学専攻をはじめとする各専攻に定員が設けられる事になった。これは筑波大学の文系学類では初めての試みである。

これを受けて、人間学類で毎年行われているカリキュラムアンケートが今年は項目、量ともに大幅に増えて行われた。主専攻の定員制限という措置に対し、学生はどう思っているのだろうか。（渡辺）

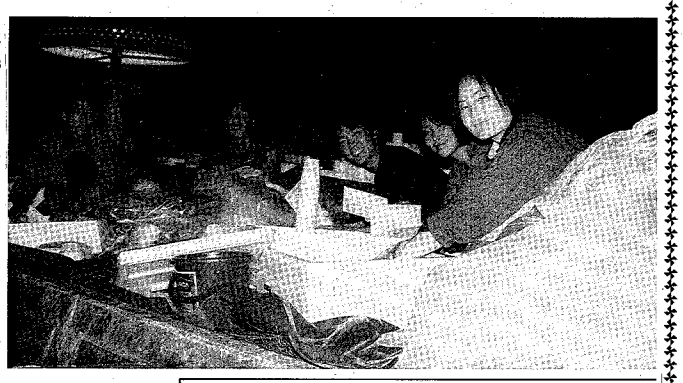
# 人間学類 文系初 専攻に定員設ける

## 約八割の学生は反対の声

学専攻が人気で、主専攻に希望する学生が多い。普雙峰祭の三日間、各所の「再生トレー」用のゴミ箱から回収、それを洗うという作業を行った。雙峰祭三日間で洗った枚数は、約一万七千五百枚にも上る。しかし、学祭実委に注文があった枚数は五万枚、約三分の一という回収率だった。

「回収率を見れば、どれくらいの人が環境問題に意識を持っているかを調べることができる」とは、再生トレー責任者の山本剛史さん（資源二年）。「予想していたほどの数を回収できたが、やはり五万枚すべてを回収したい。もっと意識を高めてほしい」とのことだった。

通文系の学類では、各主専攻に定員を定めるということは無かった。しかし、学生の数に対して教授が不足してきたため、人間学類では平成八年度入学の学生から、定員制限の導入に反対して


▶再生プレートを洗うエコレンジャー

## CO2量調べて……
# 君とDairy エコ・チェック

この他にも、エコレンジャーは二つの活動を行っている。その一つが、宿舎におけるペットボトルの回収。ペットボトルは再生可能な資源であるにも関わらず、現在宿舎では、燃えるゴミとして処理されてしまっている。ダイエーなどでは回収も行っているが、そこまで持っていくのは面倒だと多くは燃えるゴミになっている。そこで、エコレンジャーが一の矢二号棟にペットボトルの回収箱を置いてみたところ、実に一週間で百七十本以上のペットボトルが回収できたという。このまま軌道に乗れば、厚生会の認可を取り、全寮舎でのペットボトル回収が実現するそうだ。

そして現在メインの活動とも言えるのが、「ウィークリーエコチェック」。これは主に二酸化炭素の排出量を調べるもので、一般の家庭を対象としている。内容は一週間毎に電気、ガス、水、そしてガソリンの排出量をチェックし、それを二酸化炭素の排出量に換算する。最終的には、四週間後にどれだけ排出量を減らせるかが狙い。自分の生活の中で排出される二酸化炭素の量、そしてどれだけそれを削減できるか、ということを自認できる。

ウィークリーエコチェックは十月いっぱい行われ、その結果のパネル展示が、十一月二十九（土）、三十日（日）につくばセンターで行われる。時間は午前十時～午後四時まで。会場ではパネル展示の他、環境に優しい商品の展示販売、そして家庭から排出される二酸化炭素の量を、ペットボトルを使ったモニュメントで表現するなどといった企画が用意されている。

# AMUSE（アミューズ）解散

毎年、学園祭のラストを飾ってきた「二〇〇〇人の野外ディスコ」が今回をもって終了することが判明した。主催していた団体「AMUSE」が学園祭のディスコをもって解散したためだ。今回のディスコで六年間の活動に終止符を打ち、有終の美を飾った。

かつては学内広報紙「キャンパス」を内容が不服として周辺の開発が進みねぐらが奪われたことは容易に想像できる。ムクドリにしてみれば棲処を無くして仕方なしに洞峰公園に移ったのだ。

追越宿舎に住む筑波大生に鳥害の直接責任はない。しかし我々の見ているものは人間の開発による自然破壊の結果である。

＊＊＊＊＊

**ムクドリ……**北海道から九州までに繁殖。平地や盆地の人里付近に生息。橙色の嘴と白い頭が目立つ。繁殖期後群れで生活し、大群となり竹林などに眠る。

## 「このまま不満を残したままということはしない」
### ――学類長談――

特にこれから主専攻の決定をしなくてはならない一年生にとっては、この措置は不安を感じずに入られない。

主専攻に定員が決められている事を、入学以前に知らなかったという回答も、三割強はある。希望の主専攻になれると思っている学生の数は四十％と、半数に満たず、主専攻決定がスムーズに行くと思っているという回答は僅かに十八％。

一方、実際に専攻の選択を終えた二年生にも、多少の不満の声が聞かれる。心理学以外の専攻を選んだ学生のうちで、二名が自分の希望する専攻を選べなかったと回答している。主専攻の決定がスムーズに進まなかったという回答も、五割近くにまでのぼっている。

これに対し、門脇人間学類長は「このまま言うことはない」と断言し、現状の理不尽さを認めながらも改善する意欲を見せる。学類生の大半に多くの不満を残したまま新カリキュラムは施行される。人間学類の速やかな対応が望まれる。

「このまま不満を残したままということはしない」――学類長談――

特にこれから主専攻の決定をしなくてはならない一年生にとっては、この措置は不安を感じずに入られない。

主専攻に定員が決められている事を、入学以前に知らなかったという回答も、三割強はある。希望の主専攻になれると思っている学生の数は四十％と、半数に満たず、主専攻決定がスムーズに行くと思っているという回答は僅かに十八％。

一方、実際に専攻の選択を終えた二年生にも、多少の不満の声が聞かれる。心理学以外の専攻を選んだ学生のうちで、二名が自分の希望する専攻を選べなかったと回答している。主専攻の決定がスムーズに進まなかったという回答も、五割近くにまでのぼっている。

これに対し、門脇人間学類長は「このまま言うことはない」と断言し、現状の理不尽さを認めながらも改善する意欲を見せる。学類生の大半に多くの不満を残したまま新カリキュラムは施行される。人間学類の速やかな対応が望まれる。

## 熱く唄え！ 芸サの歌

芸術系サークル連合（以下、芸サ）が結成二〇周年を記念して、芸サの歌を作ることになった。その名も「大切な歌」。芸術系とは画が用意されている。

CREATIVE HOUSE
AKUAKU 1979-1999
COFFEE お食事 お酒 JAZZ, ART ……
つくば市天久保2 6 1
TEL0298-51-4147
〔pm0:00～am2:00〕
営業時間が変わりました。

コンパはおまかせ！
酒・たばこ・米
みやもと
天久保2丁目（味の民芸裏）
TEL 52-1960

――一流メーカー家電品を安く安く大奉仕中――
●カラーテレビ ●ビデオ ●ステレオ ●パソコン ●ワープロ ●ファクシミリ
●電子手帳 ●冷蔵庫 ●洗濯機 ●携帯電話 ●クリーナー ●電子レンジ
●電気炊飯ジャー ●エアコン ●ビデオソフト ●輸入・国内CD ●ゲームソフト ●Jリーググッズ
石丸パソコンプラザ 11月末でっかくオープン

お客様第一・良心経営
石丸電気 つくば店
茨城県つくば市東新井31－13
電話 0298－51－1400（代表）
営業時間／午前10時～午後7時半
全年・土曜は午後5時まで
茨城県最大のソフト売場
～国内CD・輸入CD・LD・ビデオソフト・ゲームソフト～

# 只今軟化中
## ～変革する応援団～

▲典型的応援団像（「男旗」石山東吉より抜粋）

**「押忍」「学ラン」「根性」…応援団ほど偏見をもって見られる団体はないだろう。漫画やその他のメディアによってパロディ化されたイメージもあって、とかく応援団はコワそうに見られる。そういった要素も確かにあり、実態が分からなくなっている側面もある。しかし、本来の目的は名前の通り運動部を中心とした大学の活動の応援。「コワもて」イメージを払拭し、「桐の葉」を一般学生とともに応援しようと変革する筑波大学応援団をレポートする。（丹羽）**

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

伝統を感じさせる応援団。百年以上の歴史をもつ応援団は（東京教育大時代から逆上っても）過去には存在せず、今年の一月にようやく創団十年目を迎える。結成のきっかけは当時の大学野球リーグの神宮大会決勝戦（筑波対法政）。相手の法政大学応援団が派手だったのに比べ、筑波大はメガホン片手の即席応援歌。筑波大公式野球部は優勝したが、スタンドの寂しさを残念に思った大学関係者の働きかけによって応援団が結成された。当初の団員は十人程。

責任者となった佐原傳三助教授（当時・現生物資源学類教授）はスマートで明るい応援団を目指し、学ランではなくハッピでの応援などを提案していたようだ。しかし創団の際、他大学の応援団から応援の技術などを学び、スタイルを含めて倣ったため、結局学ラン、団旗の典型的応援団としてスタートした。

現在の筑波大学応援団はリーダー、チアリーダー、マーチングバンド部を合わせて五十名程。全国でも有数の規模だ。応援団は定着したが、相変わらずスタンドに一般学生は少ない。

早慶など、スポーツが強い大学は一般学生も含めて応援が盛んというのが定説だが、筑波では当てはまらない。なぜ筑波大生は応援に行かないのか。理由として三点が考えられる。

第一に、筑波大の属する関東大学リーグの試合会場が遠いため、観戦に行きにくい。

第二に、選手がほとんど体育専門学群に属しており、一般学生にはなじみが薄い。

第三に、学内に大学スポーツの話題が少ないこと。大学から「つくばスポーツ」という情報誌が発行され配置されているが、あまり読まれている形跡がない。

応援団は応援バスツアーを組むなど環境作りをしてはいるが、金銭的な問題から限界がある。それでもやっぱり「会場まで応援に来てほしい」（加藤寧利応援団長）。

だが、当の応援団の「こわもて」イメージが一般学生を応援から遠ざけている一面もあると思われる。

## 「一生懸命」ゆえ由の自己満足
### 周囲への迷惑に気づきにくい

応援団の「応援」以外の側面を表す言葉として、学ラン、伝統、規律や厳しいなどが考えられる。これら「応援団文化」を個別に見れば、礼儀正しい応援団員像が浮かぶはずだが、大声、根性といった威圧感の方が印象に残ることがある。更に、これら応援団文化は各大学団員同士の交流を通して強化される。

筑波大の応援団に限ると、他大学の応援団に比べれば大分「おとなしい」と加藤団長はいう。それでも、学内でデモンストレーションをすれば、一般学生が引いていると感じることは度々あったという。また、屋外で飲み会をすれば、大学本部に騒音の苦情がくることもあったという。応援団界が閉鎖的で外からの批判が届きにくいこと、一生懸命故に自己満足に終始してしまいがちなことも、周りへの迷惑に気づきにくい要因になってきた。

学ランや規律、愛校心によって団員は硬派に見える。それに「一生懸命な」大声での挨拶。応援団の実態がよく分からないからこそ、上下関係、愛校心などがある。「何事にも全力を尽くす」は応援団の美徳とされている。

## 親しまれる団を目指して

筑波大応援団は「一般学生や社会に対して迷惑をかけてきた反省から」加藤団長を中心に意識の刷新を図っている。「応援団とは、それらしい衣装をまとい、それらしい言葉遣いをする「形をもった」集団ではない。本来学生や大学をもり立てて行こうという気持ちをもった団体。一般学生に受け入れられないようでは応援団たり得ない」と話す加藤団長。改革は創団当初の理念でもあった愛される応援団への原点回帰といえる。

具体的に行っているのは上下関係の緩和、正装ときれて来た学ランのユニフォーム化など、応援団らしさとされて来た形式の大幅緩和。下級生が上級生に意見を言うこともできるし、必要以上の礼儀は団として集まるときだけ。試合の応援を学ランではなく、Tシャツでしたこともある。団員が「やってて楽しい」と感じられるような部分を導入した。

「迷惑」を未然に防ぐ努力もする。その象徴的なエピソードがある。「飲み会の時は必ず飲まない団員を何人か用意し、車で来てもらう。酔って暴れたり大声を出す団員が出れば、取り押さえて車で強制返還する」。

また、予算の問題はあるが、一般学生が応援を身近に感じられる応援バスツアーのような企画を増やしていきたいという。

筑波大学応援団は今年の四月から「桐葉」を名乗って活動している。「団体の名称を変えることで、改革への決意の大きさを示した」と話す加藤団長。数年後には「桐葉」の元、大勢の学生が筑波大運動部を応援する日がくるかもしれない。

▶Tシャツ姿で応援

---

小説は趣味

# 1ランク上の賞を目指す

光文社文庫
## 「本格推理」入選
# 二見晃司さん
（社会学類4年）

つくばな百々

**つくばから、新たな推理作家が誕生した。社会学類四年生の二見晃司さんである。二見さんは、光文社文庫の「本格推理」シリーズの最新作「本格推理一〇」で見事入選を果たした。その二見さんに、今回話を伺ってみた。（渡辺）**

＊　＊　＊　＊　＊

二見さんは作家らしく、質問に言葉を選ぶように答えてくれた。口数は多くなかったものの、その言葉は重く、彼の考えが伝わってきた。

まず今回の入選に関しては、「鮎川哲也氏（『本格推理』シリーズの編集長であり、選者。日本推理小説界の大御所）に名前を知られた事が嬉しい」という。

二見さんが推理小説を初めて読んだのは、小学生の頃。江戸川乱歩の「少年探偵団」を皮切りに、今まで数百冊の推理小説を読んだという。本格的に小説を書き始めたのは、大学三年から。賞に応募したのも、今回が初めて。「何かを残したいと思った」というのが、小説を書き始めたきっかけだという。

今後は、今回のような短編をメインに実力を磨き、長編に挑んでみようと考えているらしい。

「本格推理」は、推理小説界ではかなり有名な反面、最も簡単な賞。もう一度本格推理にも応募するが、同時に、一ランク上の賞も目指したい」との事。

しかし本業として小説家になる事は、全く考えていないとのことだった。その理由は、二見さんにとって執筆が「あくまで趣味の延長」であるからだという。その事について二見さんは、「好きでやってる分には楽しめる。仕事では楽しくない」と語る。

最後に「推理小説とは」と伺ってみた。

「推理小説は、頭を使わないで読める小説なんです。問題が与えられ、それに対する解答がきちんと用意されてる。変に理屈っぽい小説より、いつでも楽しめるエンターテイメント小説だと思っています」。

▶二見晃司さん（写真左）作品が掲載された「本格推理」（写真右）

---

# 大学探訪
## 茨城大学

**今回の訪問地は茨城大学。昭和二四年に開学し、水戸キャンパスに人文、教育、理学部、日立に工学部、阿見に農学部を置く国立大学である。同じ国立でありながら、似ていないようで似ている、近そうで近くない。この茨城県の二つの国立大学を比較してみた。（小幡）**

＊　＊　＊　＊　＊

水戸キャンパスには一年生及び人文、教育、理学の二～四年生が通っている。実は学生の数は筑波大学とさほど違わないのだが、こじんまりとした感じを受ける。大学入口の校門とその傍らに立つ警備員が大学に入ったことを実感させてくれる。水戸キャンパスはほぼ正方形で、中央に図書館が鎮座しており、庭には二匹犬が寝そべりベンチに座った学生が昼食のパンをちぎって投げている。折しも時は秋まっただ中、空は快晴で多大訪問にはまさにうってつけの日和であった。

## 「筑波」「茨城」似たもの同士

「茨城」「国立」ときて「地味」という言葉が浮かばないはずがない。ファッションに関しては、筑波大学は言わずもがな後進国だが、茨城大学も負けてはいなかった。ただ、今年の七月七日には七夕記念に浴衣で登校する団体が現れたりと、様々な活動も盛んなようだ。また、移動能力の主力が自転車である、男女の仲がよい、など共通点は数限りない。

制度上違いに目を向けてみると、まず茨城大学は二学期制である。したがって試験が二度しかなく、休みは筑波大学よりも長い。また、両大学とも開学記念日は休日となっている。しかし、茨城大学は実際に五月三一日に休日になっているのに対し、筑波大学では記念日の一〇月一日に「授業数の確保」を理由に週休二日を採り入れた頃からとりやめている。

また、ポスター、張り紙などの掲示に関して茨城大学では「届け出制」（届け出る）であるのに対し、筑波大学は「許可制」（届け出て許可を得る）を採用している。

茨大生と筑波大生にそれぞれの相手大学の認識度などをアンケート調査した。

それによると筑波大学に対しては「広い、真面目、頭良さそう」というイメージで固められていた。これに対し、茨城大学に対するものは「都会にある、楽しそう」などの意見もあったが「知らない」という意見が大半を占めた。これといった特徴がない為、大学のイメージが抱きにくいのだろう。

サークルはこれといって特別なものはなく、一般的なサークルが大半を占める。ただ、二年になると工学部と農学部の学生はキャンパスが変わる為、長続きしにくいそうだ。男不足に悩むサークルも多いとか。

両大学とも、芝生の上で弁当を食べ、学生が企画したイベントのポスターが貼られ、サークル棟で授業をサボる、といったことが日常で行われている。ただ、筑波大は授業中構内に人気が無く、広すぎて人口が分散しているが。

所在は違っても、茨城大学と筑波大学、意外に似たもの同士であった。

### 徹底比較

①所在　②学部　③一学年学生数
④休日　⑤図書館蔵書　⑥学籍番号
⑦寮

| | 筑波大学 | 茨城大学 |
|---|---|---|
| ① | つくば | 水戸・日立・阿見 |
| ② | 第一，二，三，体育専門，芸術専門，医学専門学群 | 人文，教育，理，農，工学部 |
| ③ | 2020人 | 1720人 |
| ④ | 113日 | 117日 |
| ⑤ | 約100万冊 | 78.6万冊 |
| ⑥ | 970001（年 個人番号） | 97L1001R（年 学部 個人番号 謎） |
| ⑦ | 56棟　4048人180世帯 | 4棟　515人 |

---

Catch

ヒップホップダンスサークル「REAL JAM」

# Coolなパフォーマー

**リズムに合わせて激しく、軽妙に、あるいはコミカルに動く肢体。アクロバティックなブレイクダンスに思わず嘆声と拍手が起こる。学園祭の間、人文社会学系棟横、あるいは夜祭のステージで披露されたストリートダンスに、目を奪われた人もいるだろう。彼らはヒップポップダンスサークル「REAL JAM」。派手なパフォーマンスで道行く人を魅了した彼らをキャッチした。（三羽）**

＊　＊　＊　＊　＊

「ヒップポップ」はラップ、DJ、ダンスなどの要素を含めた八十年代以降の黒人ストリート文化スタイルのこと。更に年代に応じて、「オールド・スクール」「ニュー・スクール」などの流派に分かれる。ちなみに「REAL JAM」は、個々人は標榜するスタイルがあるが、流派にはこだわらない「なんちゃってヒップホップ」なのだそうだ。

「REAL JAM」が結成されたのは約二年前と、まだ間もない。メンバーは筑波大生のほかに家政女子大など二十人程。全員が大学に入ってからダンスを始めたため、経験は半年から長くても二年。その割には、というと失礼だが、とてもカッコいい。ダンスの振り付けは自分たちで考えるそうだ。リズム感だけでなく創造力が要求される。

## 見てもらえるのが快感

「魅力を知るには体験を」と、記者も初歩的な手ほどきを受けた。といっても、胸のアップダウンでエイトビートのリズムをとり、手、足、頭を自由に（あくまでカッコよく）動かすだけ。それだけでも上手くできればとてもさまになる。文章にすれば簡単そうに見えるこの動作も、実際はそう上手くいく訳ではない。なじみの無いラップのリズムに乗ろうとするのに必死だった。それでも音楽に五感を集中するうちに体が大きくなめらかに動くようになる。リズムに身をゆだねる「快感」の支配。個人差はあるが、二、三カ月練習すれば人前で踊れるくらいになれるとのこと。

観衆を前にして踊る「REAL JAM」の面々はみな嬉しそうだ。指導を受けた澁谷暢人さん（医専三）にダンスの楽しさを聞くと、「自己表現とか難しいことは求めていない。単純に人に見てもらえることが快感」という。

普段は月、火、木曜に追越二五号棟二階フロアで練習している。当面は来年一月につくばカピオで行われるコンテストが目標。「大勢の人に見に来てほしい」と澁谷さんは話す。

◀派手にブレイクダンス（学園祭にて）

友 and 遊　甚八 居酒屋
PM6:00より営業　Tel 55-6744

メガネのハシモト つくば店
COCOS　スーパージャンボ　並木　学園東大通り　メガネのハシモト　北大通り　学生宿舎
〈コンタクト定検〉土 PM4:00～6:00　月・木PM2:30～4:30

引越し、レジャーにレンタカーを―
(株)トヨタレンタリース茨城
―筑波学園営業所―
営業時間8:00～19:00　☎51―0100

春日歯科医院
〔診療時間〕AM9:00～PM1:00，PM2:30～PM7:00
（但し，火・土曜日はPM6:00まで）
〔休診日〕日・木曜日，祝祭日
つくば市東平塚（大学病院北側）TEL 51―1333

Salon de Adonis アドニス
〒305 つくば市天久保3-4-8
柴峰ビル1F
TEL 0298-58-3653
受付時間 9:00～19:00（パーマ18:00まで）増毛コース有
定休日 毎週火曜日 第2、第3月火連休

完売御礼　老舗の味　亀印やきそば